

## 「第2のふるさとづくりプロジェクトモデル実証事業」成果報告会

観光庁では、「何度も地域に通う旅、帰る旅」という新たな旅のスタイルの普及・定着を図るべく、「第2のふるさとづくりプロジェクト」を推進しています。今年度、第2のふるさとづくりを推進する上での課題解決に向けてモデル実証事業を実施しました。

この度、同事業の成果報告会を開催し、実証事業者による成果報告及び交流の場・拠点の作り方や移住などへの繋げ方に関するトークセッションを実施します。第2のふるさとづくりに関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

### 開催概要

【日時】 令和5年3月9日（木） 14時00分～16時00分

【形式】 Zoomウェビナー形式

- 【プログラム】
- 開会挨拶
  - 成果報告(実証事業者)
  - トークセッション① ～交流の場・拠点の作り方について～
  - トークセッション② ～第2のふるさとづくりと移住について～
  - 閉会挨拶

プログラムの詳細は別紙1をご確認ください。

### 【申込み】

参加申込みフォームへの登録申請後、ご登録アドレスへ視聴URLを送付いたします。

参加登録はこちら：[https://camail.knt.co.jp/form/pub/knt\\_ecc4/anewhometown](https://camail.knt.co.jp/form/pub/knt_ecc4/anewhometown)

注：成果報告会視聴希望の方は3月8日(水)17時00分までに参加登録をお願いします。



### 「第2のふるさとづくり推進ネットワーク」交流会実施のお知らせ

成果報告会終了後、「第2のふるさとづくり推進ネットワーク」交流会を実施いたします。当該ネットワークについては別紙2をご覧ください。ネットワークの登録申請フォームより登録申請後、ご登録アドレスへ交流会参加申請フォームをお送りします。注：既にネットワークにご登録の皆様には別途メールにてご案内いたします。

日時：令和5年3月9日（木）16:15～17:30（予定）

形式：Zoomオンラインミーティング形式

参加者：事務局・観光庁・ネットワーク登録者（令和4年度モデル実証地域＋希望者）

募集定員：各ルーム10名程度（傍聴希望者は定員なし）×4ルーム

観光庁・事務局各1名がファシリテーターとして参加。

### 問い合わせ先

観光庁 観光地域振興部 観光資源課 担当：日比・若林・木村・濱渦  
E-MAIL: [hqt-okaeri@ki.mlit.go.jp](mailto:hqt-okaeri@ki.mlit.go.jp)

TEL: 03-5253-8111(代表) (内線: 27-828、27-826) / 03-5253-8924(直通)

注：可能な限り、メールでのお問い合わせにご協力をお願いします。

## プログラム

### 14:00 成果報告会プログラムの説明

事務局

### 14:05 開会挨拶

観光庁 観光資源課長 富田 建蔵

### 14:10 成果報告（モデル実証事業者）

観光庁では、第2のふるさとづくりに必要な要素として、地域との関わりの創出、柔軟な滞在環境づくり、移動の足の確保などに対して優良事例を創出するために、今年度より全国19地域でモデル実証事業を実施。その中から、3地域の再来訪促進に向けた工夫ポイントなどを紹介。

#### 北海道・国立公園の町で「食住遊働」コンセプトによるどさん子育成プログラム実証事業

取組地域：北海道川上郡弟子屈町

登壇者：北国からの贈り物株式会社 鈴木藍氏



#### 「地域に何度も通う旅、帰る旅」を持続可能かつ再現性高く実現するためのカスタマー・

プラットフォームづくり（CRM 基盤）および関係性構築人材の育成プロジェクト in 雪国観光圏

取組地域：新潟県南魚沼市ほか

登壇者：一般社団法人雪国観光圏 代表理事 井口智裕氏



#### 地域に通う、心が通う、課題解決型ラーニングツーリズム事業

取組地域：京都府南丹市美山町

登壇者：一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 高御堂和華氏



### 15:00 トークセッション①：交流の場・拠点の作り方について

地域での交流拠点の作り方、地域内でのコミュニティの作り方について、「民間企業目線」と「行政目線」とで  
マチに関わってきた方からお話いただきます。 ファシリテーター：株式会社ナビタイムジャパン 藤澤政志

Endemic Garden H 代表取締役 仲本いつ美氏

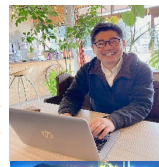


沖縄県国頭村役場に入庁し9年間、役場職員として地域の課題解決に取り組んだのち、沖縄県庁出向。2019年に観光業をなりわいとするまちづくり会社Endemic Garden Hを設立。集落と文化をつなげた観光コンテンツ、古民家や空き地を使った分散型・滞在型の宿泊施設を開発。



運営主体：やんばる3村体験型コンテンツ委員会

埼玉県・横瀬町まち経営課（自称）失敗推進係長 田端将伸氏



1974年、埼玉県横瀬町生まれ。1993年、横瀬町役場に入職。税務課、総務課、振興課観光担当を経て、2016年からまち経営課。「小さな町だからこそできることがある」をモットーに、官民連携プラットフォーム「よこらぼ」を担当。約6年間で計126件の事業を展開。中学生とクリエイターの社会課題解決プログラム「横瀬クリエイティブティーター・クラス」などがある。



### 15:30 トークセッション②：第2のふるさとづくりと移住について

第2のふるさとづくりと移住について地域外から来た方がどのような関わりを持ち、反復継続した来訪や移住に繋がっていくのかを地域と来訪者をつなぐ地域側の受入体制の観点からお話いただきます。

ファシリテーター：株式会社ナビタイムジャパン 藤澤政志

埼玉県比企郡小川町 小川町魅力発信拠点むすびめ（観光案内所／移住サポートセンター） 八田さと子氏



茨城県出身。大学在学中、環境NGOに関わる中、持続可能な社会を作る方法／答えとして「有機農業」の存在に気づき以後その領域で模索し、歩む。有機農業のご縁で小川町に移住して12年。農ある暮らしを小さく実践中。薪の暮らし、お米の自給が夢。現在の仕事はまとめて言うと地域コーディネーター。NPO法人霜里学校理事（事務局／むすびめ運営責任者）、女子栄養大学非常勤 講師、小川町有機農業生産グループのサポート役 など

### 15:50 来年度に向けた取り組みについて

観光庁 観光資源課 日比裕介

### 15:58 閉会挨拶

事務局

注：内容は一部変更になる可能性があります。

## 第2のふるさとづくり推進ネットワーク

第2のふるさとづくりプロジェクトを更に推進するための地方公共団体、観光地域づくり法人（DMO）、民間事業者、関係省庁等による情報交換の場となります。優れた取組手法や関係省庁からの情報の共有、メディア等への情報発信機会の提供、参画団体間での情報交換等を行っていくことで、新たな国内交流市場の開拓を図るものです。

第2のふるさとづくりプロジェクトにご関心のある組織・団体であればどなたでもご参加可能です。

登録申請フォームURL：<https://forms.office.com/r/UzMByWRaCF>

### <主な活動内容>

- ・第2のふるさとづくりに関する施策、事例等の情報の共有、発信
- ・第2のふるさとづくりに取り組む事例の情報交換、相互交流
- ・第2のふるさとづくりに係るノウハウ等の周知・普及、機運醸成

詳細についてはこちらの報道発表をご覧ください。

[https://www.mlit.go.jp/kankocho/news05\\_000325.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/news05_000325.html)

### <第2のふるさとづくりプロジェクトとは>

新型コロナウイルス感染症の影響等によって働き方・住まい方に関する意識が変化する中で、密を避け、自然環境に触れる旅へのニーズなどが高まっています。また、大都市にはふるさとを持たない若者が増え、田舎に憧れを持って関わりを求める動きも存在しています。こうした新しい動きも踏まえ、国内観光の新しい需要を掘り起こし、地域経済を活性化する観点から、いわば「第2のふるさと」として、「何度も地域に通う旅、帰る旅」という新たな旅のスタイルを提案しています。

詳細はこちらをご参照ください。

- 「第2のふるさとづくりプロジェクト」施策紹介ページ：  
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/anewhometown.html>
- 「第2のふるさとづくりプロジェクト」特設ページ：  
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/anewhometown/>
- 「第2のふるさとづくりプロジェクト」Instagram：  
<https://www.instagram.com/anewhometown/>